第1回「サザエさん通り」構想検討会 議事要旨

1. 日時：平成25年9月12日（木）10：00～12：00

2. 場所：西南学院大学西南コミュニティセンター会議室

3. 議題

議事1 「サザエさん通り」構想検討会の設置について

議事2 「サザエさん通り」構想策定について

4. 出席者

(1) 委員（14名）

井上委員、内田委員、小山委員、岸川委員、久池井委員、佐藤委員、パークレー委員、柴崎委員、都合委員、鳥巢委員、皆川委員、森田委員、矢賀部委員、吉武委員

(2) 顧問（1名）

川口顧問

(3) 早良区役所関係課及び事務局

(4) 傍聴人なし

5. 会議経過

(1) 開会

(2) 講話 「福岡の「サザエさん通り」に期待するもの」 川口顧問

(3) 出席者紹介

(4) 議事

①議事1 「サザエさん通り」構想検討会の設置について

○出席委員の互選により、会長には森田委員、副会長にはパークレー委員が就任。

②議事2 「サザエさん通り」構想策定について

○「サザエさん通り」構想（案）について事務局から説明。

【質疑応答】

会長 12月末にこの構想を策定した後は、どういう計画になるのか。

事務局 構想策定の過程の中で出てきた方向性に沿って、行政では可能な限り次年度予算の要求等に反映させていく。また、年度にこだわらなくていいものについて、可能なものは、構想を経て、行政だけでなく各分野のご協力をいただきながら進めていく。

委員 「サザエさん通り」が福岡タワーまでという事務局からの説明であったが、シーサイドももちの入口までで、海までが、「サザエさん通り」である。また、百道浜校区では「百道浜です サザエさん」の歌を地元住民で作詞作曲をし、小学生がTNCに出演して歌を歌

っている。写真掲載を検討願う。

事務局 中身の記述や写真の掲載の仕方等は、構想を検討していく中で、修正していく。

委員 海から生まれたサザエさんということで、67年前のきれいな海、サザエさんの海を取り戻そうというような観念や環境問題について、触れられていない。

事務局 そういった方向性を盛り込んで、次回の構想検討会でお示しする。

委員 地域商店街の活性化を推進する福岡市活力アップ事業を進めるなかで、西新商店街と桜新町商店街の交流事業などを進めている。構想策定後にどう進めるかをもう少し明確にするとわかりやすい。構想策定後も商店街とサザエさんの会も一緒に経済効果の創出に繋がる取り組みを進めていきたい。

会長 大きなテーマとして「まち全体がサザエさん一家」ということがあって良いかもしれないが、具体的な考え方、コンセプトというところで、「環境」というのは当然重要な視点ではないか。また、構想策定の中に、共働のまちづくりが示されているが、早良区において共働事業への参加も考慮しても良いと思う。

委員 地域の住民・行政で策定していくということが大事なこと。もうひとつ、福岡市全体にどう繋げていくかという視点や、全国へどう発信するかという視点も必要である。それが地域の「誇り」にもなる。

委員 平成24年度から平成25年度までに「サザエさん通り」に関連して、様々な事業やイベントを実施しているが、まだ、早良区民や地域の方にあまり印象付いていない。それぞれがバラバラにするのではなく、また、1回で終わりにするのではなく、続けていくことが必要。

委員 昨年5月27日に「サザエさん通り」の誕生を機に、「サザエさん通り」がある世田谷区桜新町商店街と西新商店街との交流事業をやっという話になった。西新商店街で、「サザエさん」と「海平さん」（海平さんは、波平さんの双子の兄）の着ぐるみを製作した。海平さんは福岡在住という設定なので、西新に居てもおかしくないだろうということで、商店街では、それを中心としたイベントを実施している。

委員 平成24年度のオープントップバスで開始した「サザエさん通り」のアナウンスは、常時しているのか。また、博多祇園山笠のサザエさん飾り山は1年限りか。

委員 オープントップバスでは、常時アナウンスされている。

委員 山笠は、去年は天神だけだが、今年は博多駅と天神の2箇所で開催された。

委員 百道浜の「サザエさんこども御輿」は、今年も実施されたのか。

また、「百道浜です サザエさん」の歌は、どのように歌われているのか。

委員 「こども御輿」は、今年も実施し、新聞にも報道された。

この歌は、長谷川町子美術館から、百道浜校区の中で歌う許可をもらっている。サザエさんのキャラクターに関わることは、長谷川町子美術館の許可が必要であり、行政から許可をとっている。

委員 実施するのは行政だけというのではなく、こういう場でそういうものをどんどん生かして、活用していくべきではないか。

事務局 「サザエさん通り」に関しては、長谷川町子美術館にキャラクターの使用等にあたって、個別に許可をいただいている。

委員 これまでの取組についての活用方法はこの場で検討するのでは。それは置いておいて新たに考えるということか。

委員 何を生かすかは、これから検討していくのではないか。

会長 これまでやってきた実績も踏まえて、今後ソフトに生かすのか、ハードに生かすのか、継続するのか、ある程度組み替えるのか、というのは当然この計画の中に盛り込んでいき、これまでの成果をださないといけない。

委員 短期の取組として、ハード面の「通りのシンボル性を高める」というところで、起点・終点をはっきりわかるようなものを早く整備してほしい。

会長 この検討会では、長期と短期とを含めて整理して、ランドデザインとしての方向をつけていく。短期では、標識のサインをどうするかなどを盛り込んで行かなければならない。中長期も含めてイベントのようなソフトからハード、行政がやること、民間がやることを整理して青写真に入れるようにするというのが、この委員会である。今回出された骨子案については、少し方向が見えていない。短期のものと中長期のものが混ざっている。短期間で住民の方に「サザエさん通り」を分かったいただく方法もあれば、年を経て、地道に伝わっていくものもあるので、その辺を盛り込んでいければと思う。12月末までにまとめるには、やや時間的な心配はある。この先、この委員会が言ったことに対してどういう動きになるのかが、まだ見えないというところで皆さんにご意見をいただきたい。

委員 区役所としても、起点・終点のサインについてはできるだけ早く実施したいが、一方で、まち全体を総合的にイメージし調和の取れたものにするということを考えている。時間がかかっていることは否めないが、構想後に考えていきたい。

委員 いろんなことが話されているが、「サザエさん通り」に関する事業については、連携を取合いながら、この検討会で、要るもの要らないものや、新しく作るものなどを踏まえた上で、短期的に取り組むことや中長期的な計画が出てくると立派なものが生み出せるのではないか。

委員 高取焼でサザエさんの陶板を製作してはとの話もある。いろんな所にそれを作り、スタンプラリーを実施してもおもしろいのではないか。また、「サザエさん発案の地」をみんなに分かるようにしてもらいたい。

委員 百道浜では、野鳥公園がビオトープの中にあって、今は何もないが、そこに「サザエさん神社」をつくってはどうかという案もある。全体の構想をきちんとした上で、起点・終点の整備を実施した方がよい。

会長 ワークショップの内容を踏まえて、今回案として出された構想の骨子が練り直されて、次回検討会で出てくるのか。

事務局 若者向けワークショップでは、今までにない意見が出るかもしれない。良いものは今後の展開に盛り込んで行きたい。一般向けワークショップでは、昨年のワークショップの結果を踏まえて深掘りをしていく。その内容を盛り込んで、次回の構想を提示させていただく。

会長 今までの実績等を踏まえるかたちでワークショップを実施し、構想に盛り込んでいただくように。そして環境やまちづくりを広い視野でとらえ、また、長期にわたる点や「早良区における」という点も踏まえた視点がないと偏りが生じるので留意いただきたい。

事務局 今日の意見を踏まえて、骨子案とワークショップの内容を検討させていただきたい。